



2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年1月31日

上場会社名 中部鋼鈹株式会社
 コード番号 5461 URL <https://www.chubukohan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 重松 久美男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 上杉 武
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名
 TEL 052-661-3811

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	38,821	16.6	1,563	43.3	1,659	41.1	1,056	43.5
2018年3月期第3四半期	33,307	29.5	2,757	15.7	2,816	17.1	1,869	16.3

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 688百万円 (71.7%) 2018年3月期第3四半期 2,437百万円 (23.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	37.83	
2018年3月期第3四半期	66.60	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	66,409	58,403	87.4
2018年3月期	67,517	58,417	86.0

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 58,024百万円 2018年3月期 58,082百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		9.00		10.00	19.00
2019年3月期		7.00			
2019年3月期(予想)				7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,100	17.1	2,400	20.5	2,400	21.2	1,500	36.3	53.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	30,200,000 株	2018年3月期	30,200,000 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	2,450,104 株	2018年3月期	2,127,404 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	27,919,126 株	2018年3月期3Q	28,072,612 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示変更について)

第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用及び所得環境の改善などを背景に緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、米中貿易摩擦問題による海外リスクの高まりから景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主力セグメントである鉄鋼関連事業におきましては、好調な建設機械・産業機械需要のほか、物流施設等の非住宅建築需要が堅調に推移しましたが、主原料をはじめとする諸コストが前年同期に比べ上昇しました。また、レンタル事業ならびにエンジニアリング事業につきましては、営業活動は順調に推移したものの、事業拡大に伴うコストが増加しました。物流事業につきましては、倉庫事業の取扱量が好調に推移しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は388億2千1百万円と前年同期比55億1千3百万円の増収、経常利益は16億5千9百万円と前年同期比11億5千6百万円の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億5千6百万円と前年同期比8億1千3百万円の減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

(鉄鋼関連事業)

鉄鋼関連事業につきましては、当社の主要製品である厚板の需要が堅調に推移し、販売数量・販売価格とも前年同期を上回りました。一方、主原料である鉄スクラップ価格は秋口より下降に転じたものの、平均購入価格が前年同期を上回ったことにより、売上高は367億3千万円と前年同期比52億8千8百万円の増収、セグメント利益(営業利益)は13億3千5百万円と前年同期比13億7百万円の減益となりました。

(レンタル事業)

レンタル事業につきましては、厨房用グリスフィルターの受注枚数増加及び厨房工事の増加により、売上高は4億4千8百万円と前年同期比3千2百万円の増収となったものの、新洗浄工場の稼働に伴うコスト増加により、セグメント利益(営業利益)は7千3百万円と前年同期比1千2百万円の減益となりました。

(物流事業)

物流事業につきましては、危険物倉庫の取扱量が順調に増加したことにより、売上高は4億6千1百万円と前年同期比8千5百万円の増収となり、セグメント利益(営業利益)は1億7千2百万円と前年同期比4千6百万円の増益となりました。

(エンジニアリング事業)

エンジニアリング事業につきましては、工事案件の積み上げにより、売上高は11億8千万円と前年同期比1億7百万円の増収となったものの、海外事業に伴う費用計上により、セグメント損失(営業損失)は6千4百万円(前年同期同四半期連結累計期間のセグメント損失(営業損失)は8千4百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産状況

(資産の部)

流動資産は、397億7千5百万円で、前連結会計年度末より、4億2千万円の増加となりました。その主な要因は、有価証券が減少したものの、受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。

固定資産は、266億3千3百万円で、前連結会計年度末より、15億2千8百万円の減少となりました。その主な要因は、投資有価証券が減少したこと及び有形固定資産において、減価償却が進んだことによるものです。

(負債の部)

流動負債は、68億2千8百万円で、前連結会計年度末より、11億8千万円の減少となりました。その主な要因は、未払法人税等、支払手形及び買掛金、賞与引当金が減少したことによるものです。

固定負債は、11億7千7百万円で、前連結会計年度末より、8千7百万円の増加となりました。その主な要因は、退職給付に係る負債が増加したことによるものです。

(純資産の部)

純資産は、584億3百万円で、前連結会計年度末より、1千4百万円の減少となりました。その主な要因は、利益剰余金が増加したものの、その他有価証券評価差額金が減少したこと及び自己株式を取得したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想につきましては、2018年5月2日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありませんが、マーケット環境の変化も予想されますことから、今後、業績予想の修正を行なう必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

また、期末配当金につきましては、1株当たり7円を予定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,482	6,431
受取手形及び売掛金	16,142	18,951
有価証券	9,804	7,702
商品及び製品	2,616	2,438
仕掛品	1,275	1,113
原材料及び貯蔵品	2,938	3,041
その他	93	96
貸倒引当金	—	△0
流動資産合計	39,355	39,775
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,005	7,735
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	12,471	12,110
土地	1,752	1,752
建設仮勘定	70	48
その他（純額）	5	4
有形固定資産合計	22,306	21,651
無形固定資産	123	98
投資その他の資産		
投資有価証券	4,644	3,751
長期貸付金	2	1
退職給付に係る資産	8	8
繰延税金資産	435	538
その他	642	586
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	5,731	4,883
固定資産合計	28,161	26,633
資産合計	67,517	66,409

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,789	5,304
未払金	541	458
未払法人税等	756	222
未払消費税等	244	265
賞与引当金	402	193
役員賞与引当金	4	2
その他	269	381
流動負債合計	8,008	6,828
固定負債		
役員退職慰労引当金	10	13
退職給付に係る負債	978	1,067
その他	101	96
固定負債合計	1,090	1,177
負債合計	9,099	8,006
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,907	5,907
資本剰余金	4,668	4,668
利益剰余金	47,867	48,448
自己株式	△1,044	△1,271
株主資本合計	57,398	57,752
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	752	329
為替換算調整勘定	8	△10
退職給付に係る調整累計額	△76	△46
その他の包括利益累計額合計	684	272
非支配株主持分	334	378
純資産合計	58,417	58,403
負債純資産合計	67,517	66,409

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	33,307	38,821
売上原価	27,236	33,351
売上総利益	6,070	5,469
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	1,624	2,160
役員報酬及び給料手当	806	866
賞与引当金繰入額	72	69
退職給付費用	74	69
その他	735	739
販売費及び一般管理費合計	3,313	3,906
営業利益	2,757	1,563
営業外収益		
受取利息	8	7
受取配当金	80	70
受取賃貸料	52	53
為替差益	2	12
受取保険金	4	40
雑収入	8	14
営業外収益合計	156	199
営業外費用		
支払利息	4	4
固定資産処分損	72	74
雑損失	21	24
営業外費用合計	98	103
経常利益	2,816	1,659
特別損失		
投資有価証券評価損	19	—
会員権評価損	—	3
特別損失合計	19	3
税金等調整前四半期純利益	2,796	1,656
法人税等	893	555
四半期純利益	1,902	1,101
非支配株主に帰属する四半期純利益	32	45
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,869	1,056

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	1,902	1,101
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	499	△423
為替換算調整勘定	△13	△18
退職給付に係る調整額	48	29
その他の包括利益合計	534	△412
四半期包括利益	2,437	688
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,404	643
非支配株主に係る四半期包括利益	32	45

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	鉄鋼関連事業	レンタル事業	物流事業	エンジニアリング事業	
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	31,442	416	376	1,072	33,307
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	49	6	1,728	370	2,154
計	31,492	423	2,104	1,443	35,462
セグメント利益又はセグメント損失(△)	2,643	86	126	△84	2,771

2 報告セグメントごとの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する情報)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,771
セグメント間取引消去	3
全社費用(注)	△17
四半期連結損益計算書の営業利益	2,757

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	鉄鋼関連事業	レンタル事業	物流事業	エンジニアリング事業	
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	36,730	448	461	1,180	38,821
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	48	6	2,268	572	2,895
計	36,778	454	2,729	1,752	41,716
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,335	73	172	△64	1,518

2 報告セグメントごとの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する情報)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,518
セグメント間取引消去	50
全社費用(注)	△5
四半期連結損益計算書の営業利益	1,563

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。